

HCC TIMES



Vol.246 12 2023



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚 3-2-1
TEL:0120-294-998
<https://www.housenka.com/>
編集: 広報戦略室 / 編集長 石倉慎也
2023.12.1 発行

第15回豊泉家スポーツフェスタ2023



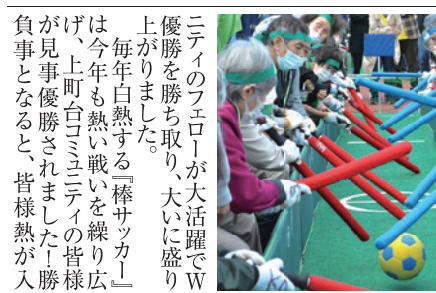
集えー豊泉家コミュニティズ 夢と希望と勇気をこめてー



10月21日(土) 服部緑地陸上競技場にて「第15回豊泉家スポーツフェスタ2023」を開催いたしました。豊泉家を開催いたしました。豊泉家スポーツフェスタとは、コンセプトである「二度青空のもとで体を動かす」ことを目的に毎年秋頃に服部緑地陸上競技場で開催しております。皆様のご健康と安全を第一に考え、感染症にも考慮しながら、久しぶりにご家族・来賓・ステークホルダーの皆様をご招待させていただき、総勢700名の皆様にご参加いただくことができました。

当日は、涼しく過ごしやすい天候で、ご利用者ご入居者の皆様はもちろんのこと、フェローを含めた全員がともにさわやかな汗を流しました。今年も、プログラムの1番最初にほうせんかキッズクラブミニ運動会を開催いたしました。園児たちがサーキットや広い芝生の上でのかけっこ、エビとカニに扮して、お父さん・お母さんと一緒にエビカニクスを披露してくれました。はじめは泣いていてお友だちも環境に慣れてくると、楽しそうに笑顔で踊っていました。チアダンスチーム「桃山台PE

ACHの皆様によるチアダンスを披露いただきました。華麗な技が決まると、皆様から大きな歓声や拍手が聞こえてきました。さらに、今年も豊泉家のフードトラックが来てくれました！ソフトクリームやチーズハットクなどを目当てに、あつというまに長蛇の列ができていました。競技は、コロナ禍前と同じプログラムに戻し、広い競技場を有効活用しながら、16種目を同時に行いました。フェローによるリレー(400mリレー)とスウェーデンリレーの2種目では、若屋コミュニティの皆様による優勝争いが白熱しました。今年も熱い戦いを繰り広げ、上町台コミュニティの皆様が見事優勝されました！勝負事となると、皆様熱が入り、大いに盛り上がり、大活躍でW優勝を勝ち取り、大いに盛り上りました。



チーム対抗
グリーン 北緑丘・茨木
オレンジ 桃山台・桜塚・庄内
ブルー 住之江・上町台・京町堀
ブラック 芦屋山手・ステークホルダー
上記4チームに分かれて各競技の総得点で優勝を決定しました！

【プログラム】	
11:50	ほうせんかキッズクラブ運動会
12:15	アトラクション 桃山台 PEACH!チアダンスチーム
12:30	開会式
13:00	コミュニティ対抗400mリレー(予選)
13:20	玉入れ・大玉おくり
十字綱引き・体力測定	
13:40	棒サッカー・宅記便りー・大玉運び・パン食い競争・50m走・歩競争
14:00	投げ縄的当て・大縄跳び・信物競争・お手玉落とし
14:25	スウェーデンリレー
14:40	コミュニティ対抗400mリレー(決勝)
14:50	閉会式

るようで、普段の様子から想像することができないくらい、大きな声でボールを呼んだり、闘志みなぎる表情で競技に取り組みました。ご入居者ご利用者のいきいきとした表情を見ることができ、スポーツの素晴らしさを改めて実感した日となりました。会場全体が一体となり、心躍らされた今年の豊泉家スポーツフェスタ。皆様のおかげで15回目を滞りなく開催することができました。今後とも皆様のご理解・ご賛同と、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、ご出席賜りました皆様、ご協賛いただきました皆様、心より御礼申し上げます。

今年豊泉家の新たな事業として豊泉家チャレンジホームYÜKUI住之江を開設いたします。「豊泉家チャレンジホームYÜKUI」とは、チャレンジの方が生涯安心して暮らすことができる長期入居型のチャレンジ専用住宅です。2012年4月より、豊中でチャレンジセンターを開設以来、2016年5月に箕面、2019年8月に住之江にてセンターを開設し、これまでに多くの方にご利用いただいております。その中でチャ



2023年11月1日(水)、豊泉家チャレンジセンター住之江に「レインボーイ(短期入所)」「YÜKUIチャレンジャー(短期専用住宅)」がオープンいたしました。当初は昨年度の開設を目指し、準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による高齢者の死者数の増加を防ぐことを目的とし、豊泉家グループとして大阪府からの要請を受け「大阪コロナ高齢者医療介護臨時センター」ほうせんかの事業を行うこととなり、開設を延期し、地域貢献に尽くしてまいりました。今年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと変更され、事業が終了したなかで、あらためて事業開始にむけて準備を再開し、念願のオープンとなります。

① 生涯安心の住居
高齢になっても併設されているケアハウスや豊泉家内の特別養護老人ホームなどとの連携が可能となっており、将来的にも心配なく生涯豊泉家でサポートすることが可能です。



② 充実の支援ケアサービス
コミュニティ内の居宅生活介護サービスで、24時間365日安心安全にお過ごしいただけることが可能です。

③ 暮らしを彩る生活サービス
生活介護だけでなく、HCC豊泉家コミュニティクラブのサービスをご利用いただくことで、クラブ活動や外出イベント等の娯楽サービスを通じて楽しみながら生活していただけます。併設の体育館ではスポーツやトレーニングを通して思いっきり体を動かしていただけます。

また、同じ建物内で「レインボーイ(短期入所)」のサービスを開始しております。ご家族のレスパイト(休息)や将来の自立に向けた練習、「豊泉家チャレンジホームYÜKUI住之江」の体験入居としてご利用いただくことが可能です。



詳しくはこちら
利用申込見学受付中
受付窓口:0120-294-4998
記者広報部 部長 石倉 慎也

豊泉家チャレンジホーム住之江レインボーイ:YÜKUI

HCC北緑丘
ふれあいフェスティバル

10月31日(火)特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘にて、『ふれあいフェスティバル』を開催いたしました。
コロナ禍では出来なかった『ふれあい』をテーマに、赤ちゃん先生と移動動物園に来ていただきます。

赤ちゃん先生は、ママの働き方応援隊より、4か月の赤ちゃんから小学生のお子さままで、8組の元気な子どもたちが、北緑丘コミュニティに遊びにきてくださいました。
一緒に風船で遊んだり、歌を歌ったり、皆様笑顔で子どもたちと触れ合いを楽しんでいた、会場は終始、優しい空気に包まれていました。

移動動物園では、京都ポニー動物園様は、お越しいただき、ポニーをはじめ、ヤギやウサギなど、多くの動物達が北緑丘コミュニティに来てくれました！
エサをあげたり、へびを首に巻いたり、普段ではできない動物との触れ合いも楽しまれていました。

他にもフェローによるよさこいを披露したり内容盛り沢山のイベントとなりました！
「かっこいい！」と普段とは違ったフェローに、釘付けにならしておられました。
天候にも恵まれ、皆様に楽しんでいただけたことができたかと思えます。

引き続き、皆様に楽しんでいただける企画を考えてまいります。

記者：北村 美果



HCC桃山台
お寿司パーティー

10月25日(水)、26日(木)にアシステッドリビングホーム豊泉家桃山台、27日(金)にケアハウス豊泉家 桃山台にて『お寿司パーティー』を開催いたしました。普段のお食事にもお寿司は提供させていただいており、1年に1度、お腹いっぱいお寿司を召し上がっていただく、企画した当日イベント。お寿司のネタは事前にご入居者にアンケートを実施し、上位に入ったネタを6貫厳選し、食べ放題で提供させていただきます。また、お寿司の他にも、赤だしや煮物の盛り合せ等を召し上がっていただきました。ご入居者の皆様から「大好きなサーモンをいっぱい食べることが出来た」「沢山おかわりできるのが嬉しい」と嬉しいお言葉をいただきました。

今後ともご入居者の皆様に普段とは違う「食」を愉しんでいただけるよう、尽力してまいります。

記者：摺石 奈々

10月25日(水)、26日(木)にアシステッドリビングホーム豊泉家桃山台、27日(金)にケアハウス豊泉家 桃山台にて『お寿司パーティー』を開催いたしました。普段のお食事にもお寿司は提供させていただいており、1年に1度、お腹いっぱいお寿司を召し上がっていただく、企画した当日イベント。お寿司のネタは事前にご入居者にアンケートを実施し、上位に入ったネタを6貫厳選し、食べ放題で提供させていただきます。また、お寿司の他にも、赤だしや煮物の盛り合せ等を召し上がっていただきました。ご入居者の皆様から「大好きなサーモンをいっぱい食べることが出来た」「沢山おかわりできるのが嬉しい」と嬉しいお言葉をいただきました。



HCC住之江
秋の遠足

10月11日(水)住之江コミュニティの外出イベント「秋の遠足」として、神戸どうぶつ王国に行きました。
当日はフェローと一緒に園内を見て回り、普段出会うことのない生き生きとした動物たちの観覧を愉しんでいただきました。特に園で有名なダシビロウの、ご観覧の際にはきりつとした目で、静かに立っている姿を皆様、興味津々でご覧になられていました。

昼食では園内の動物たちの話で大盛り上がり、会話を弾ませながらの食事をお愉しみいただきました。
最後には園の前の皆様と記念撮影し、神戸どうぶつ王国を後にしました。この秋の楽しい思い出として皆様の心に残るイベントとなれば私たちがフェローも大変嬉しいと思います。

今後とも、住之江コミュニティでは皆様に喜んでいただけるイベントを実施してまいります。

記者：枡谷 敦



HCC芦屋山手
カップヌードル

10月13日(金)ケアハウス豊泉家芦屋山手にて「外出イベント」秋のお出かけツアーとして、大阪の池田市にある「カップヌードルミュージアム」に行きました。
当日は、マイクロスコープを貸し切つて出発！行き帰りの道中では、大阪空港の近くを通る際に、空港に降り立とうとしている飛行機をみることで、車内では歓声があがりました。

館内では、まず約800種類のカップヌードルが展示されているインスタントラーメンコーナーを見学。その後、世界で1つだけのオリジナルカップヌードルを作る事ができる工房へ移動し、好きな色で塗ったり、イラストを描いたりして、オリジナルのマイカップをデザインしました。
最後は、お好みのスープと、具材を選択。麺を入れてもらい、完成！
包装した世界に1つだけのカップヌードルを首にかけて、皆様、とても楽しそうな様子でした。

今後、皆様にワクワクしていただけるようなイベントを企画してまいります。

記者：石倉 萌

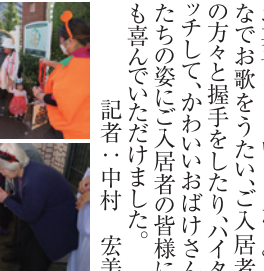


HCCキッズクラブ
ハッピーハロウィン！

10月31日(火)ほうせんかキッズクラブにおおげささんから「ハッピーハロウィン！遊びに来てね！」と、招待状のお手紙が届きました。子どもたちは「ちよとこわいけど、お菓子をもらえるかなあ？」と、ドキドキしながら仮装をし、お散歩の準備をしました。お出かけの準備が完了したら、製作で作ったジャック・オランタンのバッグをさげて、さあ出発！いつものお散歩と違う雰囲気になわくわくそわそわしながら歩いていきました。桃山台コミュニティの前まで行く、仮装したフェローが入口で待つてくれました。こわい！と、座り込み、隠れようとする子もいましたが、かわい！メダルをかけてもらい、少し安心して様子でホームの中へ歩いて行くこと、次は仮装したご入居者がお出迎えしてくれました。

元氣にご挨拶をして何度も練習した「トリックオアトリート」を上手に言いました。みんなでお歌をうたいました。みんなでお歌をうたいました。みんなの方々と握手をしたり、ハイタッチして、かわいいおげささんたちの姿にご入居者の皆様にも喜んでいただけました。

記者：中村 宏美



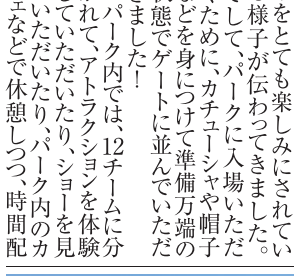
HCCチャレンジド
チャレンジドUSJツアー

11月8日(水)チャレンジドセンター豊中 箕面、住之江、チャレンジドホームINCL箕面の皆様と第3回目となるチャレンジドユニバーサルスタジアムツアー(以下USJ)ツアーに行きました。
昼食は住之江コミュニティに集合して、新設の体育館と三期のデイルームにて、豊食株式会社の特別ランチをお召し上がりいただきました。皆様、豪華なランチに「美味い！」「お腹いっぱい！」とたくさん召し上がっていただき、腹ごしらえはバッチリな様子でした。

USJに到着すると、毎回恒例となっております、USJのシンボルである大きな地球儀「ユニバーサルグロブ」の前で集合写真を撮影いたしました。
皆様、前回来られた際に購入されたUSJのグッズを持参された方もお見受けしました。

今後、皆様に安心安全にお愉しみいただけるようなイベントをHCC(豊泉家コミュニティ)クラブを通じて開催してまいります。また皆様と一緒できることを楽しみにしております。

記者：広報部 東谷 祐子



HCCチャレンジド
チャレンジドUSJツアー

分をうまく考えながら、パークをまわっていただきました。ちょうどロウインからクリスマスまでの装いになる時期で、パーク内には大きなクリスマスツリーが設置されていました。皆様クリスマスツリーの前で写真撮ったり、色々な形でUSJをお愉しみいただきました。
そして、ショップでは、皆様思いのお土産を購入していただきました。「家族に」とお菓子を購入されたり、次回来る時に大きな帽子を購入されたり、皆様最後の最後までUSJを愉しんでいらっしゃいました。

今回もご利用者、ご家族合わせて約70名もの皆様にご参加いただきました。また、フェローも合わせる約120名という大人数で大きなトラブルもありませんでした。参加された皆様からは「楽しかった」「また来年も行きたい！」「嬉しいお声をたくさんいただくことができました」。

今後、皆様に安心安全にお愉しみいただけるようなイベントをHCC(豊泉家コミュニティ)クラブを通じて開催してまいります。また皆様と一緒できることを楽しみにしております。

記者：広報部 東谷 祐子



2023年10月度
フェロー大賞
月間賞

豊泉家フェロー大賞

MCDメイン(医療ドメイン)

北大阪ほうせんか病院臨床検査科において、医療と感染制御の体制維持に多大な貢献をされています。細菌検査や超音波検査のエキスパートとして、従事し、院内細菌検査業務を一手に支え、その上で首波検査業務のバックアップ、臨床検査科が検査の外注化改善項目の中で細菌検査の業務改善に向けて中心的な役割を担っています。新入フェローへの業務指導としての責務も積極的に果たして、高い指導力を持ち合わせている点が高く評価されました。



北大阪ほうせんか病院
臨床検査科
柏原裕美フェロー

豊泉家フェロー大賞

統合営業本部

認知症セミナーの実務担当として、当日まで細部にわたる運営面の準備を行った結果、第1回第2回と集客目標を達成されるとともに、来場者の方々に感謝とお礼の声を頂戴することができました。豊泉家グループとして新たなチャレンジである外部向けセミナー開催の基盤を構築することに、より未来の個創創造フェロー創造への可能性が広がりました。また同時に和同会の70周年記念誌の制作にも真摯に取り組む歴史を取り纏めて想いを紡いでいくと、新たな門出のスタートを支援したことが高く評価されました。



一般財団法人SF豊泉家
統合営業本部 広報部
小倉直美フェロー

豊泉家フェロー大賞

統合管理本部

電子帳簿保存法改正に伴いシステム構築や現場フェローへの説明会実施などを率先して行い、豊泉家グループ全法人にBeeperOneシステム導入を行いました。また、購買本部への情報提供によるBeeperOneシステム(請求書)によって見える化するにも尽力し、他部署も大きく貢献したことが高く評価されました。



一般財団法人SF豊泉家
統合管理本部 財務管理本部
財務管理部 高岡樹里フェロー

北大阪ほうせんか病院 行事食プロジェクト10月のメニューのご紹介

★メニュー★ チキンライスオムレツのせ・とうがんのしょうがスープ・白菜ときのことベーコンのサラダ・紫芋とかぼちゃのムース

この献立を作成された栄養士の畑智チロリフェローにお話を伺いました。



今回は、まずハロウィンのテーマカラーをオレンジ、黒、紫と決め、海外では子供たちが仮装し、お菓子をもらって回る楽しいイベントなので、お子様ランチ風にケチャップ味のオムライスにしようと思いました。ですが、オペレーションを考え、卵で巻かず、チキンライスの上にオムレツをのせ、ケチャップで顔を書き、「ジャック・オランタン」風に仕上げました。オムライスのようなメニューでは、糖質中心でお野菜が不足しがちになります。そこで、お野菜をたくさん食べていただくための工夫をしました。チキンライスはご飯の量を減らした分、中の具材である野菜はすべて手切りし、存在感と満足感を、白飯はさつと火を通すことにより、かさを抑え、より多くの量を、いたたけたいように、デザートのようにもかぼちゃのムースは手作りして、できるだけ甘みは追加せず、自然な甘みを活かしています。献立作成の時から「こんな風にしたらい」とこだわった所があったため、試作から盛りに至るまで、事前に手描きのイラストでイメージを伝え、調理・盛り付けをしていただく旨と楽しく取り組めたことが良い思い出となりました。

2023年度新卒フェローフォローアップ研修

10月27日(金)・10月29日(日)豊泉家GUEST HOUSE 若屋にて、2023年度新卒フェローフォローアップ研修を開催いたしました。

本研修は、豊泉家でのキャリアプランを作成し、短期だけでなく中長期的な視点を持つことを目的に開催され、今回は41名の新卒フェローが参加しました。

開会挨拶では、宮食崇子人財戦略室長より温かいお言葉を頂きました。

次に基調講話では、豊泉家グループ代表田中成和会長より「自分の可能性を信じて、どんな苦しい時にも『自分ができる』ということを忘れず、『トライアル&エラー』してほしい」という激励のお言葉を頂戴いたしました。

樋口昌克統合営業本部長からは、豊泉家の価値はフェローの質で左右されるため常に自分を磨くことが重要であることを学びました。また本当のプラス思考とは問題を打破するためにどうすればいいのかを考え、明日からの実践につなげることであったこと教授頂きました。

阿久根賢統合運営本部長からは、個客の幸せを願うナレッジワーカーとして自責度の高いフェローになる大切さを学びました。また強いメンタルを持つために「他人と自分を比較せず明日からの自分にしつかりと自信を持ってください」というお言葉を頂戴いたしました。

また増田直記桃山台コミュニティセンター長と看護本部宮垣真理マネジャーより、様々な経験が人の成長において重要なことを学びました。

松浦祥介経営戦略室長の

「認知症家族の会」第19回グリーンオアシスの会

10月12日(木)ケアハウス豊泉家桃山台6階コミュニティホールにて「グリーンオアシスの会」を開催いたしました。

第一部の社会福祉法人福祉社阿久根賢理事長による「認知症講座」では、本年度より2023年3月31日発行の「認知症パラダイムシフト」究極の「ロー」を創造するケアメソッド」を教材として、講話いただきました。

第七回目では、「新たな認知症ケアを知る」家族が陥りがちな「負のスパイラル」とは?についてお話いただきました。家族のケアをされている場合、何度か同じことを聞かれてイライラしてしまったり、強い口調で対応してしまったり、成果の見えないケアなど、成果の負担にもなります。また介護の負担にも結果としてみることがあります。

スレスレが高じて、認知症を有する方を否定する言葉が発し、本人の症状がいっそう悪化していき、負のスパイラルに陥ってしまいます。その場合にとりかかるといいます。座談会では、初参加の方が「今困っていること」をお話いただき、出席者全員で解決策を考え、提案される場がありました。今後もこの会にご参加いただいた皆様が少ないので、気持が楽になつて帰っていただけるよう努めてまいります。



記者・広報部 東谷 祐子

HCCスカイクラブ

福祉ネイリストに
お越しいただきました

10月26日(木)ほうせんか病院4階緩和ケア病棟に福祉ネイリストが来てくださいました。

「福祉ネイリスト」とは高齢の方や体が不自由な方、また自ら外向いて施術が出来ない方に対してホームや病院などに訪問してネイルやハンドマッサージを実施する方のことを言います。爪の知識に加えて、介護・看護の知識が必要になります。

当日は、ボランティアの皆様にもお手伝いいただき、ネイルアートとフットマッサージを実施いただきました。フェイェル(やす)で爪の形を整え、好きな色のマニキュアを選んでいたいただき塗っていただきました。こんなデザインはできたのかしら?と終始ワイワイと和やかな雰囲気でした。

次の日にご家族が面会にいられる方は嬉しそうなお表情で「綺麗ね。明日家族に見せるわ」と嬉しそうにお話しいただきました。

入院中はオシャレを愉しむ機会が少なくなつてしましますが、このネイルアートを通じて少しでもオシャレを愉しんでいただきたいと思います。今後もボランティアの皆様にも協力いただきながら定期的に開催できたらと考えております。



記者・広報部 東谷 祐子

健診センターからのお知らせ

医療法人成和会ほうせんか病院健診センターより、「脳ドック検査」についてお知らせさせていただきます。まずはじめに、「日本人の死因第4位は脳血管疾患」であることはご存知ですか?2020年厚労省「人口動態統計月報年計(概数)」の脳血管疾患とは、「脳梗塞」や「脳出血」、「くも膜下出血」の事を指します。高齢になればなるほど発症率も高く、介護が必要なる状態になりやすいということも分かっています。

健診センターでは、フェロー向けにも通常の法定健康診断に加え、「脳ドック」もご受診いただくことが可能です。(※受診条件あり)

症状が出る前に、たった30分で終わる脳ドックを受けて、脳の健康状態を把握しませんか?早期発見、早期予防に繋がります。

●特にこんな方は要注意です
※1日20本以上たばこを吸う方
※1日3合以上お酒を飲む方
詳しくはこちらまで
ほうせんか病院健診センター
TEL072164417111

健診メニューの一部を茨木市ふるさと納税のお礼品としても出品しています。詳しくは「さつこふるほうせんか」で検索してください!

記者ほうせんか病院健診センター



脳ドック
って何を見てるの?
脳にできている出血(血管の破れ)や狭窄(血管のつまり)などを見つけて、ひどく危険な状態になる前に早期治療への道をつなぎます。

